



Count on it.

Form No. 3434-634 Rev C

オペレーターズマニュアル

サルキー ミッドサイズモア用

モデル番号 44401—シリアル番号 400000000 以上



▲ 警告

カリフォルニア州 第65号決議による警告

米国カリフォルニア州では、この製品を使用した場合、ガンや先天性異常などを誘発する物質に触れる可能性があるとしております。

いまのうちに番号をメモしておきましょう。

モデル番号 _____

シリアル番号 _____

この他に2つの言葉で注意を促しています。重要は製品の構造などについての注意点を、注はその他の注意点を表しています。

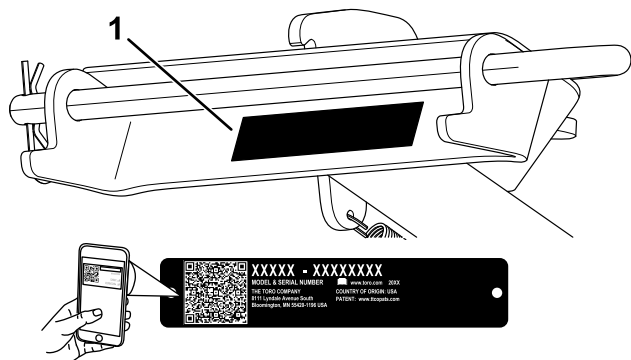
はじめに

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解し、他人に迷惑の掛からない、また適切な方法でご使用ください。この製品を適切かつ安全に使用するのをお客様の責任です。

製品の安全や取り扱い講習、アクセサリなどに関する情報、代理店についての情報の入手、お買い上げ製品の登録などをネットで行っていただくことができます www.Toro.com

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽に弊社代理店またはカスタマーサービスにおたずねください。お問い合わせの際には、必ず製品のモデル番号とシリアル番号をお知らせください。図 1 にモデル番号とシリアル番号を刻印した銘板の取り付け位置を示します。いまのうちに番号をメモしておきましょう。

重要 シリアル番号デカルについている QR コード無い場合もありますモバイル機器でスキャンすると、製品保証、パーツその他の製品情報にアクセスできます。



g294869

図 1

1. 銘板取り付け位置

目次

安全について	3
安全ラベルと指示ラベル	4
組み立て	5
1 マシンの準備を行う	5
2 サルキーを取り付ける	5
運転操作	7
サルキーの使い方	7
移動位置の使用方法	7
保守	8
サルキーのグリスアップ	8

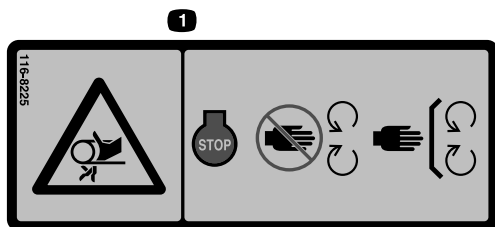
安全について

- 使用する前に、サルキーが適切に取り付けられており正常に機能することを確認してください。
- 足を地面に突っ張って機体を安定させようとするのは非常に危険ですからやめてください。機械をコントロールすることができなくなったら、機械の走行方向と反対側に飛び降りてください。
- サルキーの下に手足を差し入れないでください。
- サルキー使用中は必ず両足で運転台に立ち、両手でバーをつかんだ状態で運転操作してください。
- バックする時は運転台から降りてください。バックする時に運転台から降りるとサルキーは180°回転します。
- バックするときには、足元と後方の安全に十分な注意を払ってください。
- 運転台にはオペレータのみが一人で乗ってください。
- 訓練を受けていない人にサルキーを使わせないでください。
- 芝刈り機を搬送する時や法面を横断するように刈り込む時は、サルキーを搬送位置にロックしてください。
- 旋回する時は速度を落としてください。どのような場所でも、急旋回は事故のもとになります。
- 不整地やアップダウンの激しい場所ではサルキーを使用しないでください。
- 周囲に障害物のない安全な場所で使用してください。周囲に樹木や壁などの障害物があることを忘れて不用意に機械をバックさせたり旋回させたりすると、思わぬ事故が起こる危険があります。サルキーを安全に使用できるだけの十分な余裕のない場所ではサルキーを使用しないでください。
- 整備、修理、点検、調整などを行う前に、以下を実行してください
 - 平らな場所に駐車する。
 - PTOを解除する。
 - 駐車ブレーキを掛ける。
 - エンジンを止め、キーを抜き取ってください。
- ボルト、ナット類は常に十分に締めつけてください。良いコンディションに維持してください。
- 交換部品は必ず純正品をお使いください。
- サルキーを改造したり、対象外の機械に取り付けて使用したりしないでください。

安全ラベルと指示ラベル



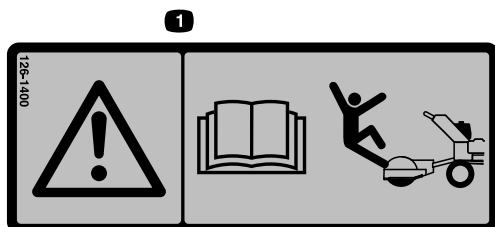
以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



116-8225

decal116-8225

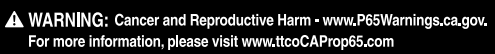
1. 巻きこまれる危険 下部に手を入れる時には必ずエンジン停止。可動部に近づかないこと。すべてのガード類を正しく取り付けて使用すること。



126-1400

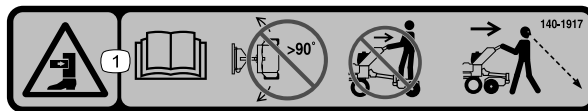
decal126-1400

1. 警告 オペレーターズマニュアルを読んでアタッチメントを良く理解し、落下事故を防止すること。



133-8061

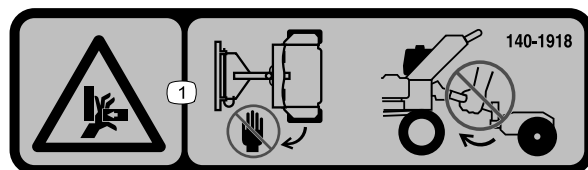
decal133-8061



decal140-1917

140-1917

1. 脚を押しつぶされる危険 オペレーターズマニュアルを読むこと 旋回は 90° 以内でバックするときは降りるバックするときは後方の安全に十分注意する。



decal140-1918

140-1918

1. 手を押しつぶされる危険 機械とアタッチメントとの間に手を入れないこと。アタッチメントのロッドを持たないこと。

組み立て

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	—	マシンの準備を行います。
2	取り付けプレート ボルト ナット ピボットピン ヘアピン・コッター 移動用ピン サルキー	1 4 4 1 1 1 1	サルキーを取り付けます。

重要 91 cm (36") マシンにはウェイトキットが必要です。他のマシンではウェイトはオプションです。必要となるキットをトロ社代理店から入手して取り付けてから、サルキーを取り付けてください。

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. PTO を解除し、駐車ブレーキを掛ける。
3. エンジンを止め、キーを抜き取ってください。

2

サルキーを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	取り付けプレート
4	ボルト
4	ナット
1	ピボットピン
1	ヘアピン・コッター
1	移動用ピン
1	サルキー

手順

1. 芝刈り機の後下フレームにバックプレートを取り付けるボルト4本、ナット4個を使用する [図 2](#)。

注 下側の穴は 36" マシン用です。それ以外のマシンには上穴を使用してください。

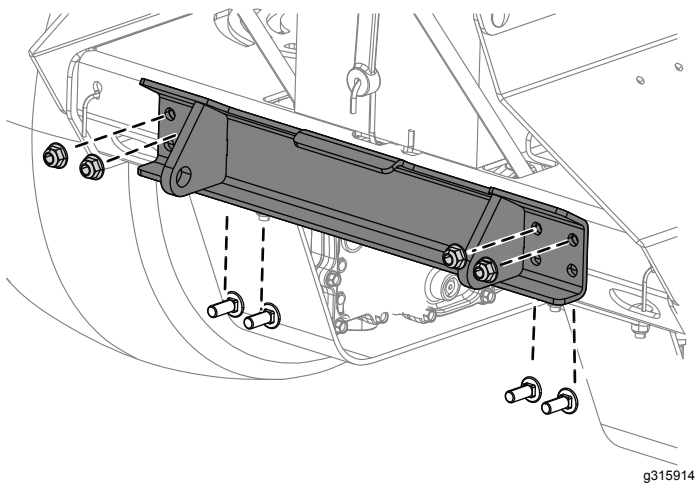


図 2

2. ピボットピンとヘアピンコッターで、サルキーをブラケットに取り付ける図 3。

注 必ず、JピンのJ形端部をプレート上部に当ててください図 4。

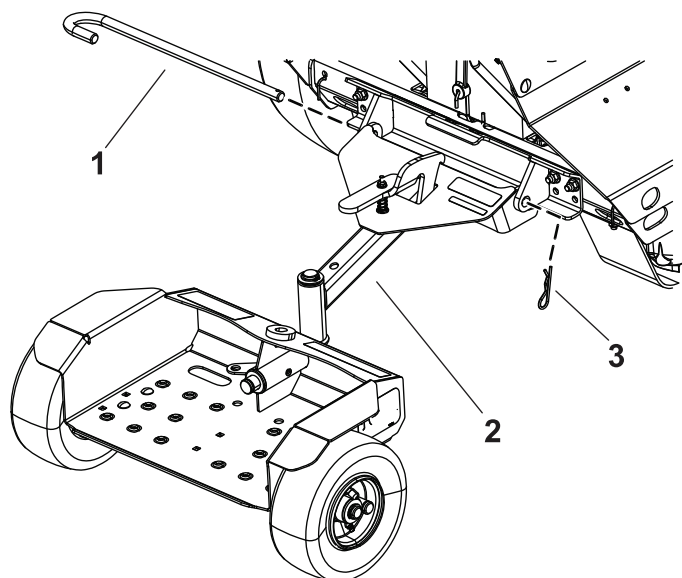


図 3

1. ピボットピン
2. サルキー
3. ヘアピンコッター

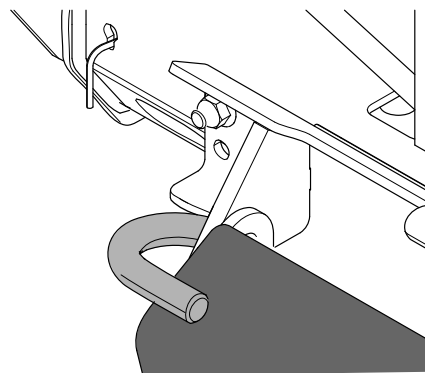


図 4

3. 移動用ピンを、図 5のように収納する。

重要 移動用ピンを牽引バーの中に入れてください。

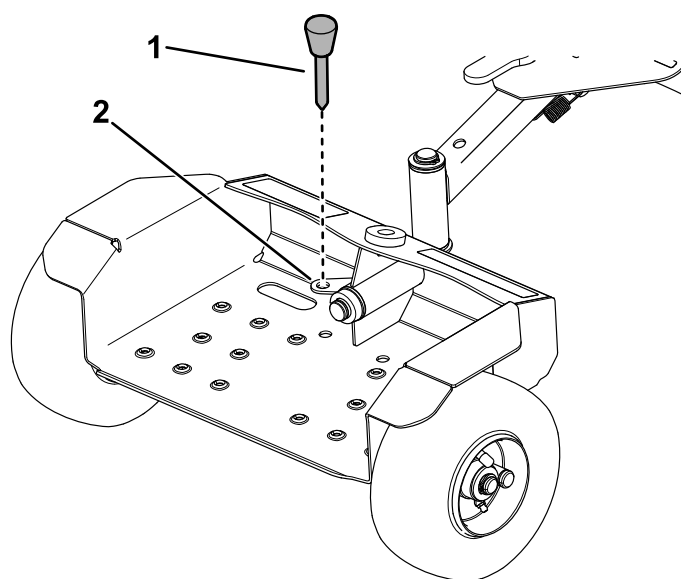


図 5

1. 移動用ピン
2. ピンプレート

運転操作

⚠ 警告

運転中に運転台から落下すると重症を負う危険がある。

必ず両足で運転台に立ち、両手でバーをつかんだ状態で前進走行すること。バックする時は運転台が降りること。

サルキーの使い方

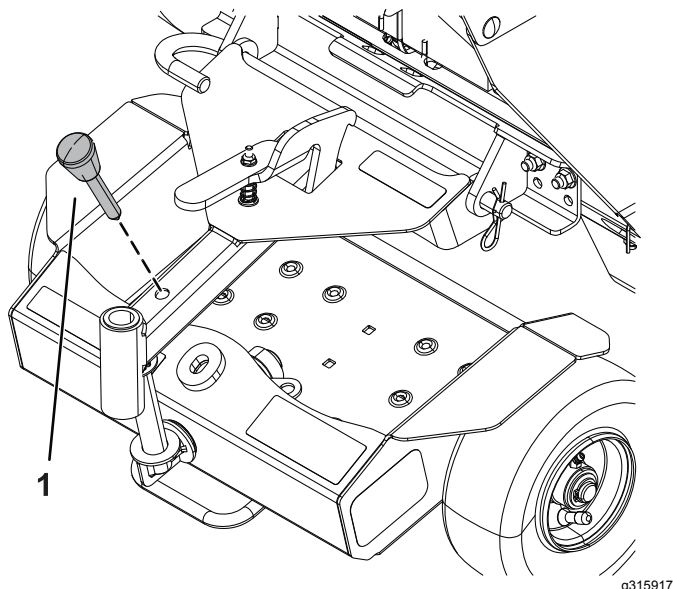
サルキーの運転台に乗ってからマシンを始動してください。走行中はマシンの操縦バーをしっかりと握って身体を安定させてください。

バックする時は、必ず完全に停止してからサルキーを降りてください。バックすると、サルキーは前方に回転して牽引バーの下に入り、マシンを前進させるとサルキーは元の状態に戻ります。

移動位置の使用法

1. 平らな場所に停車し、PTOを切り、駐車ブレーキを掛け、走行コントロールレバーを開いてニュートラルロック位置にする。
2. エンジンを止め、キーを抜き取る。
3. 移動用ピンを取り外す。
4. 運転台を前方に回して移動用ピンで固定する  6。

注 マシンをバックさせて運転台を前方に回すこともできます。



1. 移動用ピン

5. ハンドルを握ってサルキーを持ち上げて前方に倒すと、ラッチが掛かってブラケットに固定される  7。

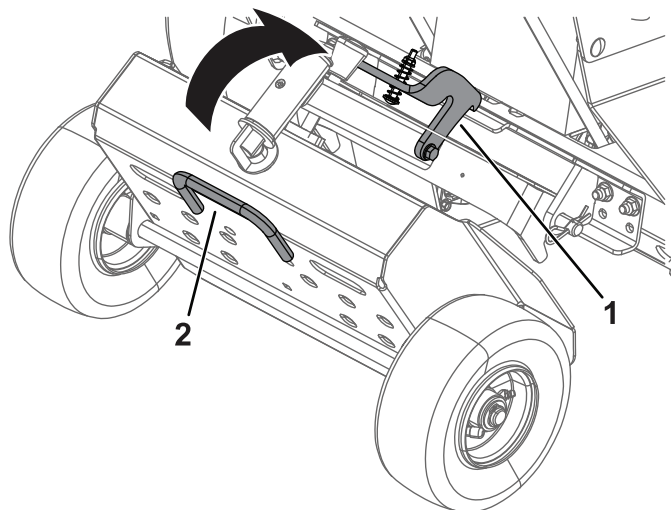


図 7

1. Latch 駐車ブレーキラッチ 2. ハンドル

6. サルキーを使用位置に戻すには、サルキーを前方に押し出してラッチを外し、ハンドルを持ってサルキーを降ろす。移動用ピンを外してピンプレートに収納する  5。

保守

サルキーのグリスアップ

整備間隔: 使用することまたは毎日—グリスフィッティングを点検する。

40運転時間ごと—運転台をグリスアップする 洗浄後はすぐに行ってください。

使用するグリス汎用グリス

1. 平らな場所に駐車し、PTOを解除し、駐車ブレーキを掛ける。
2. エンジンを止め、キーを抜き取ってください。
3. グリスフィッティングをウェスできれいに拭く。

注 フィッティング前部にペンキが付着している場合には、必ず落としておく。

4. フィッティングにグリスガン进行接続する。
5. ベアリングからグリスがはみ出てくるまでグリスを入れる。
6. はみ出したグリスをふき取る。

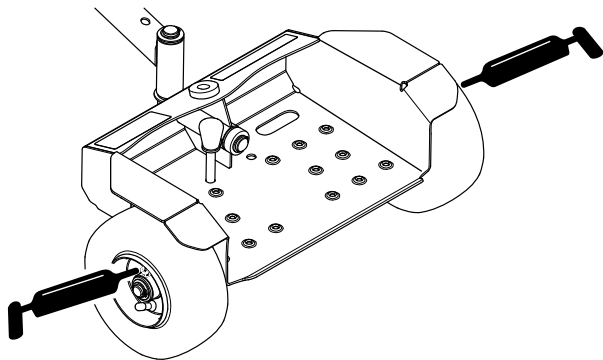


図 8

g295121

メモ

メモ

EEA/UK におけるプライバシーに関するお知らせ

Toro によるお客様の個人情報の利用について

The Toro Company (“Toro”) は、お客様のプライバシーを尊重します。弊社の製品をお買い上げ頂いた際、弊社ではお客様に関する情報を、お客様から直接、あるいは弊社の支社や代理店を通じて入手いたします。入手した情報は、お客様との契約を履行するために使用されます。具体的には、お客様のための製品保証登録、保証請求の処理、万一製品をリコールする場合のご連絡、さらには弊社の事業を進めるため、たとえばお客様満足度を調査したり、製品の改良、またお客様にとって役に立ちそうな製品のご紹介などに使用します。また、トロが上記の業務を遂行するために必要となる活動のために、弊社の子会社、提携会社、代理店などのビジネスパートナーに情報を開示する場合があります。また、法律に基づく要請があった場合や、事業の売却、買収、合併などが発生した場合にはお客様の情報を開示する場合があります。ただし、マーケティングのためにお客様の個人情報を他社に売るとは絶対にいたしません。

個人情報の保存

Toro では、上記の目的にとって必要な期間にわたり関連法律に従ってお客様の個人情報を保持いたします。具体的な保持期間についての詳細をお知りになりたい方は以下にご連絡ください legal@toro.com。

セキュリティについての Toro のお約束

あなたの個人情報についての情報処理作業は、米国またはあなたが居住される国のデータ保護関連規制よりも規制がゆるやかな第三国で行われる場合があります。あなたが居住する国の外にあなたの個人情報を移動させる場合、弊社は法に則った手続きでそれを行い、あなたに関わる個人情報が適切に保護され、また適切に取り扱われるように細心の注意を払います。

アクセスと訂正

お客様には、ご自身の個人情報を閲覧・訂正する権利があり、また、ご自身に関するデータの処理に対して異議申し立てないしは禁止を申し立てる権利があります。このような権利行使をなさりたい場合には legal@toro.com にメールでご連絡ください。弊社によるあなたの個人情報の取り扱い方法に関して懸念をお持ちの場合は、ご自身で直接弊社にお尋ねくださるようお願いいたします。なお、ヨーロッパにお住まいの皆様は、Data Protection Authority に対して異議申し立てを行うことができます。

カリフォルニア州第65号決議による警告

この警告は何？

以下のような警告ラベルが貼られた製品を見かけることがあるでしょう



WARNING: Cancer and Reproductive Harm—www.p65Warnings.ca.gov.

Prop 65 って何？

Prop 65 は、カリフォルニア州で操業している企業、製品を販売している企業、カリフォルニア州で販売または同州に持ち込まれる可能性のある製品のメーカーを対象とした法律です。この法律では、ガン、先天性などの出生時異常の原因となることが知られている化学物質の一覧をカリフォルニア州知事が作成維持しこれを公表しなければならぬと定められています。危険物リストは、日常生活の中で使用するものから発見された数百種類の化学物質を網羅しており、毎年改訂されます。Prop 65 の目的は、こうした物質に触れる可能性があることを市民にきちんと知らせることです。

Prop 65 は、こうした物質を含む製品の販売を禁じているのではなく、そうした製品、製品の包装、製品に付属する文書などに警告を明記することを求めています。また、こうした警告があるからといって、その製品が何等かの安全基準に違反しているということではありません。実際、カリフォルニア州政府は、Prop 65 警告はその製品が安全か安全でないかを示すものではないと説明しています。こうした物質の多くは、様々な生活用品に何年も前から使用されてきておりますが、それらの物質が今までに何らかの健康問題を起こしたという記録はありません。さらに詳しい情報はこちらへ <https://oag.ca.gov/prop65/faqs-view-all>.

Prop 65 の警告は、以下のうちのどちらかを意味していますある企業が自社製品への化学物質の使用量について評価したところ、目立った危険は一つないとされる基準を超えていることがわかった、または (2) 製品に使用している化学物質は法律で規制されているものだったので、特に評価を行うことはせず、法に従って警告文を添付することにした。

この法律は全世界に適用されるのですか

Prop 65 警告はカリフォルニア州でのみ要求される法律です。Prop 65 警告はカリフォルニア州のいたるところで目にすることができます。レストラン、八百屋、ホテル、学校、病院など、そして非常に多くの製品にも、この警告が印刷されています。さらには、オンラインやメールオーダーのカatalogなどにも掲載されています。

カリフォルニア州の警告と連邦政府の上限との関係は

Prop 65 の内容は連邦政府の規制や国際規制よりも厳しいものが大変多いです。Prop 65 の規制基準値は連邦政府基準に比べてはるかに厳しく、連邦政府基準では表示義務がないが、Prop 65 では表示義務があるものが数多く存在します。たとえば、Prop 65 の基準では、一日当たりの鉛の排出量が 0.5 マイクログラムとなっており、これは連邦政府の基準や国際基準よりもはるかに厳しい数値です。

似たような製品なのに警告が付いていないものがあるのはなぜ

- カリフォルニア州内で販売される場合には Prop 65 ラベルが必要でも、他の場所で販売される場合には不要だからです。
- Prop 65 関連で裁判となった企業が、和解条件として Prop 65 警告の表示に同意したが、そうした問題に巻き込まれていない企業の製品には何も表示されていないといったこともあるでしょう。
- Prop 65 の表示は必ずしも一律に行われているわけではないのです。
- 自社内で検討した結果、Prop 65 基準に抵触しないと判断して、警告の表示を行わないことを選択する企業もあります。警告が書かれていないからと言って、その製品に対象化学物質が含まれていないとは言えません。

なぜ Toro 製品にはこの警告が表示されているのですか

Toro では、十分な情報に基づいてお客様ご自身が判断できるようにすることがベストであるという考えから、できる限り多くの情報をお客様に提供することとしております。リスト記載物質のいくつかが自社製品に該当する場合、Toro では、それらの物質のほとんどの量はごくわずかであって実際の表示義務はないことを認識した上で、排出量などを厳密に評価することなく、警告を表示するという判断をすることがあります。Toro では、自社の製品に含まれる化学物質の量が「重大なリスクはない」レベルであると認識した上で、あえて Prop 65 警告の表示を行うという選択をしております。これはまた、もし Toro がこうした警告を表示しなかった場合、カリフォルニア州政府や、Prop 65 の施行推進を目指す民間団体などから訴訟を提起される可能性もあるということも視野に入れての判断です。